

1 プロキシ

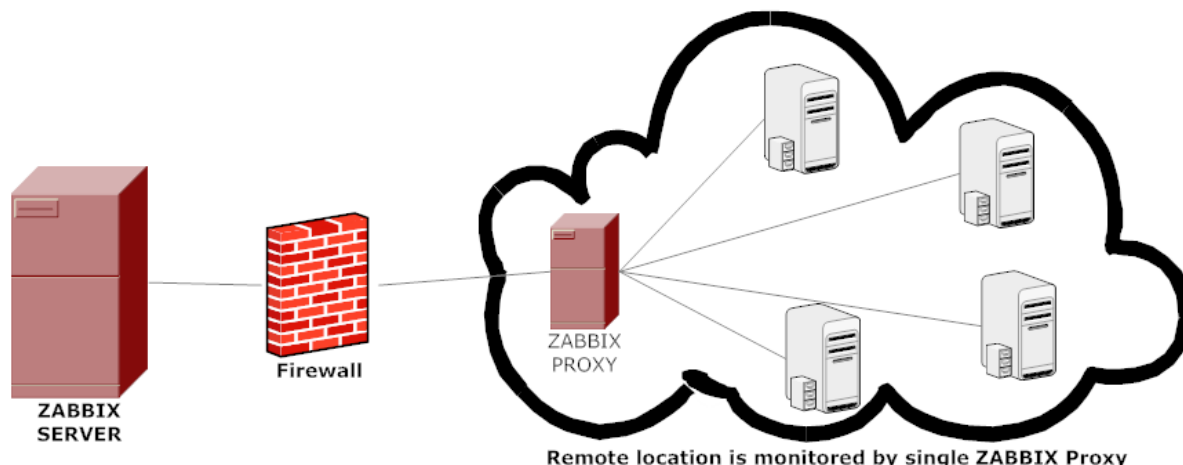
概要

Zabbixプロキシは、Zabbixサーバの代わりに、パフォーマンスと稼動状況のデータを収集することができます。この方法により、プロキシは、データを収集する負荷の一部を引き受け、Zabbixサーバの負荷を軽減することができます。

また、すべてのエージェントとプロキシが1つのZabbixサーバに対してレポートを通知したり、すべてのデータが集中的に収集される場合は、プロキシの使用は、集中監視および分散監視を実装する最も簡単な方法です。

Zabbixプロキシは次のような目的に使用します。

- 遠隔地の監視
- 通信の信頼性が低い地域の監視
- 数千のデバイスを監視する場合のZabbixサーバの負荷軽減
- 分散監視のメンテナンスの簡素化



プロキシは、ZabbixサーバへのTCP接続を1つだけ必要とします。このため、1つのファイアウォールルールを設定するだけで、容易にファイアウォールを回避できます。

Zabbixプロキシは、切り離されたデータベースを使用する必要があります。プロキシのデータベースをZabbixサーバのデータベースに向けた場合、設定を壊すことになります。

プロキシにより収集されるすべてのデータは、サーバへ配信される前にローカルに保存されます。このため、サーバとの一時的な通信障害のために、データが失われることはありません。プロキシ設定ファイル内のProxyLocalBufferパラメータとProxyOfflineBufferパラメータで、どのくらいの期間、ローカルにそのデータを保存するかをコントロールします。

Zabbixプロキシは、データを収集するものです。トリガーやプロセスのイベントの計算をおこなったり、警告を通知することはありません。プロキシの機能の概要については、次の表を参照してください。

関数	プロキシによるサポート
アイテム	
Zabbixエージェントチェック	Yes
Zabbixエージェントチェック (アクティブ)	Yes ¹
Zabbix Documentation 2.2 - https://www.zabbix.com/documentation/2.2/	Yes
トラッパーアイテム	Yes
SNMP	Yes

関数	プロキシによるサポート
組み込みのWeb監視	Yes
ネットワークディスカバリ	Yes
ローレベルディスカバリ	Yes
計算トリガー	No
イベントの処理	No
アラートの送信	No
リモートコマンド	No

[1] エージェントがプロキシ（サーバではなく）に、アクティブチェックを実行しているかを確認するためには、エージェントの設定ファイル内の**ServerActive**パラメータの一覧に、そのプロキシが含まれている必要があります。

設定

プロキシのインストールと設定が完了したら、次はZabbixのWebインターフェースでの設定をおこないます。

プロキシの追加

ZabbixのWebインターフェースで、プロキシを以下の通り設定します。

- [管理]→[分散監視]を選択します。
- [プロキシの作成]（または既存のプロキシの名前）をクリックします。

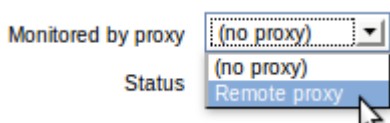
The screenshot shows the Zabbix Proxy configuration window. The 'Proxy name' is 'W1 proxy' and 'Proxy mode' is 'Active'. The 'Proxy hosts' list includes 'New host', 'srv_01', 'srv_02', 'srv_03', 'srv_04', and 'srv_05'. The 'Other hosts' list includes 'Baseline Switch 2250-SFP Plus', 'Host with Notepad', 'ProCurve J4900B Switch 2626', and 'Zabbix server'. Buttons for 'Save', 'Clone', 'Delete', and 'Cancel' are at the bottom.

パラメータ	説明
プロキシ名	プロキシ名を入力します。プロキシ設定ファイル内の Hostname パラメータと同じ名前である必要があります。

パラメータ	説明
プロキシモード	<p>プロキシモードを選択します。</p> <p>アクティブ - プロキシがZabbixサーバに接続し、設定データを要求します。</p> <p>パッシブ - Zabbixサーバがプロキシに接続します。</p> <p>(取り扱いに注意を要する) プロキシ設定データは、アクティブなプロキシの使用時Zabbixサーバのトラッパーポートへのアクセス権を持つユーザも利用可能な場合があることに注意してください。これが起こり得るのは、誰でもアクティブなプロキシを装って設定データをリクエストすることができ、認証がおこなわれないためです。</p>
ホスト	プロキシによる監視対象のホストを追加します。

ホストの設定

ホスト設定 フォームで[プロキシによる監視]フィールドを使用して、個々のホストが1つのプロキシによって監視されるように指定することができます。



本ページは2014/08/05時点の原文を基にしておりますので、内容は必ずしも最新のものとは限りません。最新の情報は、英語版のZabbix2.2マニュアルを参照してください。

From: <https://www.zabbix.com/documentation/2.2/> - **Zabbix Documentation 2.2**

Permanent link: https://www.zabbix.com/documentation/2.2/jp/manual/distributed_monitoring/proxies

Last update: **2015/01/26 05:13**

